

令和2年度 学校評価一覧シート

愛知県立半田工業高等学校

項目担当	本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の能力の向上を図る。 自己表現できる人間の育成に努め、思いやりの心を醸成させる。 開かれた学校づくりを推進し、地域への情報発信を行う。 	
	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> 学校と家庭の連携を深める。 儀式的行事の円滑な運営を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A委員会の活性化を図る。 e-メッセージを積極的に活用する。 全職員の協力体制を整え、儀式的行事に取り組む。 生徒の相互理解の場として活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を行い、P T A活動を行った。開催できない行事については、書面による報告や活動を中止した。 e-メッセージの活用により、学校から保護者へ十分な情報伝達が図った。 新型コロナウイルス感染症対策のため、放送により運営した。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の学力を向上させる。 広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の工夫改善を図り、生徒の学習意欲を高める。 授業を大切にする。 (授業規律、成績不振者指導等) 中学校の進路説明会や、地域交流を通じ校名変更・学科改編・募集単位の見直し及び本校の様子について伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を大切にする意識を高め、学力の向上につなげることができた。 追試該当者、追試不合格者に対する指導により一定の成果が得られた。 中学校の進路説明会や中学校訪問において本校の情報発信ができた。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、身だしなみを整える等、生徒自ら主体的に考えて行動できるようにする。 安全・安心な学校生活の実現 いじめの未然防止、早期発見、適切な対処 	<ul style="list-style-type: none"> 校門指導で挨拶の励行も行い、身だしなみ指導も年間8回実施するが、生徒自ら行動に移せるように働きかける。 講話の実施や、全体、HR単位、部活動単位または個人に対し全職員で協力して指導する。命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止減少に努める。 生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見につなげる。 情報を職員間で共有し、いじめ防止対策委員会が中心となり全職員で組織的に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみの乱れが目立つ生徒が校内では少なくなった。校外でも自覚を持って身だしなみを整えてくれると良い。あいさつをする生徒が増加したが元気づけできるとよい。 情報モラル講話、交通安全講話、薬物乱用防止講話など、パンフレットなどを取り寄せ、放送による講話を行った。また、人権講話では、スクールカウンセラーによる講話を行い生徒に良き刺激になった。 生活アンケートの実施で、いじめの実態把握に努め、気になる回答をした生徒には担任面談を実施し、重大な事態等につながることを防ぐことができた。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 進路意識の高揚を図る。 自分に合った進路選択をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸ばできるように援助する。 勤労観・職業観を育成するため、進路への知見を広めさせる情報提供をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 求人数が減少し、進路選択に厳しい状況となった。休校による遅れが心配されたが、3年生全員が進路先を決めることができた。 進路指導に関する行事の中止や、職場見学のオンライン化などで、例年に比べて十分な情報提供ができない年だった。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> 健康への意識を高め、心身ともに健康的な学校生活が送れるようにする。 学校生活における不安や悩みの解決に取り組む。 日常の清掃に積極的に取り組み、整備され、落ち着いた学校環境を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断、保健講話、毎日の健康観察を通じて健康への意識を向上させる。 こまめな換気を実施し、感染症予防に努める。 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、担任、相談係と連携し、教育相談体制の充実をはかる。 清掃を毎日全員で実施し、ごみの分別、環境美化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断は当初の日程と変更があったが、無事終わらせることができた。毎朝の健康観察・検温で体調管理することで、不調・高熱で保健室に来室する生徒もみられた。自己管理をし、健康への意識を高めることができた。保健講話は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。来年度は外部講師を招きたい。 冬季も新型コロナウイルス感染拡大防止のため換気に努めた。同時に、手洗場の石鹸補充、手指消毒の設置、咳エチケットの注意喚起も行った。 悩み相談で保健室に来室する生徒もみられた。スクールカウンセラー、担任、相談係と連携して悩み解決に努めることができた。 校内のワックス塗りも行い、環境美化に対する意識を高めることができた。
図書情報部	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味を持てる本の購入や企画を行い、利用し易い図書館を目指す。 個人情報漏洩防止及び情報セキュリティの強化を図る。 ホームページの内容を充実させ、本校の魅力を地域に発信する。 「KO-GYO-Times」の発行を通じて、本校の魅力をアピールする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い、図書館利用を呼びかける。 セキュリティの向上を行う。 リニューアルした学校ホームページの情報の更新を頻繁にもらえるように周知し、更新しやすい環境を構築していく。 中学校の教員や生徒および保護者、企業関係者に積極的にPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館だより」は例年通り発行した。図書館の利用については、学習目的で利用する生徒が増えた。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で企画ができなかったため、企画発表の方法を工夫して、紹介できるようにしていきたい。 G I G Aスクールプロジェクトにより、情報機器や環境が大幅に更新された。実際の利用に向けて安全に利用できる環境づくりをしていきたい。 本校ホームページは利便性が向上した。中学生向けの見学会等の情報を今後も積極的に発信していく。また、「KO-GYO-Times」をホームページに掲載したので、今後も継続し、可能であればバックナンバーも掲載したい。

	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の充実を図る。 ボランティア活動への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自主的に活動し、全校生徒が協力して学校行事に取り組めるように、生徒会執行部が中心になって企画や運営を行う。 ボランティア活動への参加を全校に呼びかけるとともに、地域への貢献ができるよう活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の安全を第一に考え、今年度のほとんどの生徒会行事を中止とした。 新型コロナウイルス感染症対策として、試合時間の短縮や観戦時のマナーに留意して、スポーツ大会を3月に実施することができた。 次年度も学校行事の実施については、感染状況をみて検討しながら、準備をしていく。 生徒の安全を第一に考え、今年度のボランティア活動は、すべて中止とした。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得を通して自ら学び、生徒の個々の能力を高める。 開かれた学校づくりを目指して、地域イベントに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 段階的に資格取得の勉強をし自ら積極的に取り組む姿勢を持たせる。 地域連携授業に積極的に参加し、コミュニケーション能力の向上を図る。 学校のホームページを有効に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前期は自宅学習の期間が長く受験申込もできなかった。今後自宅学習時でもできることを考える必要がある。地域イベントは、中止となった。 学校の情報発信として、各科の協力を得て、学科紹介動画をホームページにアップし情報発信をした。現在、課題研究発表の各科代表の動画を各科の協力のもと制作中である。もう少し、新しいホームページの利用方法も考える必要がある。
電子機械科	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の理解に努め、実習や製図などのものづくりの経験をおとして、学習に対する姿勢を育む。また、工業人としての姿勢や考え方を、理解し実践できるように育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各科目に対ししっかり理解させる。特に実習製図など作業を伴う授業では、体験を通して意欲を高める。 資格・検定に対して計画的に取り組ませる。 外部企業との連携を深めることでキャリア教育の推進を図る。 地域の活動に参加し、相互の関連を理解し連携を深める。 「安全への意識」を高め、「5S」や「報連相」を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 休校中の課題への対応は、学科内の科目について積極的にホームページを利用して生徒への手助けをすることができた。それを機会にICTの活用が進んだ。 学校再開後、教師も生徒もペースがつかめず苦労したが授業はしっかり確保できた。 新型コロナウイルス感染症対応で、資格取得・地域貢献等多くの活動が満足に進めることができなかった。今後も状況が許す範囲で取り組みたい。 今年度2度の企業見学会（職員）を実施した。制限のある中でも、現場の状況や新しい技術などの見分を広め、生徒へ還元していきたい。 設備の維持管理について話題にすることが増えた。学科が抱える備品や教材を大切にかつ有効利用していきたい。
電気科	<ul style="list-style-type: none"> 電気への興味関心を高めながら、生徒個々の基礎学力とコミュニケーション能力などの向上を図る。 生徒が自己表現できる場を提供しながら、開かれた学校づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の授業や資格取得のための学習を通して、基礎学力および電気に関する知識と能力を高める指導をする。 レポート指導や声かけなどによりコミュニケーション能力の向上を図る。 学校行事に積極的に参加させ、地域貢献や他人と協力できる場を提供し、地域への情報発信につなげる。 ボランティア活動内容や各種競技大会の結果など、生徒の活躍を学校ホームページを通じて情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得や検定試験対策では、多くの生徒が電気に関する知識と能力を高めることができた。その結果の一つとして、第二種電気工事士試験に多くの生徒が合格することができた。 提出物が出ていない生徒を把握して、声かけや指導を行った結果、提出期限を守る意味を少しずつ理解し、改善の傾向が見られた。 新型コロナウイルス感染症の影響で活動があまりできていないが、中学校への生徒派遣による高校紹介や電気科紹介動画により地域へ情報発信を行った。 中学生見学相談会で、生徒が本校の説明を行い情報発信することで、生徒のコミュニケーション能力を向上させることができた。
土木科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の向上を図り、社会に必要な知識・教養の習得を目指す。 細かな生活指導を大切にし、基本的な生活習慣を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の内容を基本とし、さらに就業後必要となる国家資格試験の内容も教科指導に取り入れる。資格の重要性を生徒へ伝えることにより、学習意欲を向上させる。 日頃より、礼儀、けじめについて、しっかりと指導をする。特に、正しい言葉遣いを伝え、社会人としての心構えを身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い範囲の学習を行うことができた。特に国家資格においては、複数名の合格者を輩出することができた。資格の重要性等を継続して伝えていき、さらなる学習意欲の向上に繋げていきたい。 日頃より、礼儀、けじめについては指導することができている。正しい言葉遣いについては、身につけることができたと考えているが、けじめや身だしなみについては、まだ不十分といえる部分があり、さらなる細やかな指導を行っていきたい。
建築科	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の向上と規範意識の確立 学科への興味・関心を深め、生徒個々の能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活リズムを身につけ、遅刻・欠席・早退をなくすよう努めさせる。 身だしなみを整え、気持ちの良い挨拶、言葉遣いができるよう指導を推進する。 平素の授業を大切に、出前授業・現場見学会・インターンシップ・職業指導講話などを通して建築に関する興味・関心を深めるとともに生徒個々の能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学年とも遅刻・欠席・早退については比較的少なく、生活リズムを身につけている生徒が多いが、まだ、一部の生徒は遅刻・欠席等多い生徒がいる。 身だしなみ、挨拶、言葉遣い等については、以前より良くなってきているが、さらに良くなるよう引き続き指導をしていきたい。 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でインターンシップ・現場見学会等実施できないところもあったが、平素の授業を大切に学科への興味・関心を深めるとともに生徒個々の能力の向上を図ってきた。さらに、建築に関する興味・関心を深めるとともに、生徒個々の能力の向上が図れるよう今後もいろいろな取り組みをしていきたい。

	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の確立を図る。 ・ 工業高校生としての自覚・目標設定をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に健康管理に留意させ、遅刻・欠席等の目立つ場合には、家庭との連携を図る。また、5分前行動や自ら挨拶することを心掛け、行動できるよう指導する。 ・ 各教科学科と連携を図り提出物の有無を共有する。また、全生徒が資格取得や部活動、ボランティアなど積極的に参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症防止のために毎日の健康観察や手洗い、換気、消毒など生徒へ注意喚起し取り組んだ。多くの生徒は規則正しい生活リズムを身につけている。一部では新型コロナウイルス感染症への不安もあり、欠席が多い生徒もいるが保護者との連絡を密にし、対応に当たった。 ・ 提出物については、特定の生徒の遅れが目立った。引き続き教員間の連携を密に図り、指導していきたい。また、資格指導や部活動、ボランティア活動は新型コロナウイルス感染症防止等の影響もあり十分に行えなかった。今後の感染状況をみて積極的に取り組んでいきたい。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら考え、主体的に行動する力を身につけさせる。 ・ 進路に対する意識の高揚を図り、進路に対する具体的な目標を明確化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告・連絡・相談をきちんと考え、適切な行動がとれるように、学年会や関係分掌との連携を取りながら学校生活のあらゆる場面で指導し、社会人としての心構えを育成する。 ・ HR・LT活動などを活用して、自己分析の支援や個人面談を積極的に行い、自己発見の援助をする。また、進路指導部と連携をはかり、ガイダンスを充実させ職業や学問に対する理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路ガイダンスや各担任による進路指導により、少しずつ社会人としての意識が芽生え、自ら考えて報告・連絡・相談ができる生徒が増えてきた。これからはさらに進路実現を目指し、コミュニケーションがとれるように引き続き指導していく。 ・ 1学期には職業適性検査を行いそれを基に、外部講師による進路講話を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でインターンシップが実施できなかったため、それにかわる企業説明会を行い、年度末には第1回の進路希望調査を行った。引き続き進路意識の向上を図るため、様々な取り組みをしていきたい。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の能力や適性を十分に把握し、個々の生徒に適した進路選択ができるように指導する。 ・ 社会人としてのモラル、マナーをしっかり身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LTやST、個人面談を通して個々の生徒の進路希望について十分に理解する。 ・ 日常生活に対する指導を通して、社会人として必要なモラル、マナーを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春先の一斉休校により、希望調査の時期が遅れたが、求人情報など進路指導と一体となり、確実に提供することができた。生徒、保護者の希望を面談を通して把握し、多くの生徒が希望した進路を選択することができた。 ・ 毎日の指導を根気よく行うことで、社会人としてのモラル・マナーについて身につけてきたが、遅刻や身だしなみができない生徒が一部いた。一年生からの指導方法について検討し、今後につなげたい。
	総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症防止対策等により実施できなかった目標もあったが、アンケート結果は、概ね良好であった。また、基本的生活習慣として、コロナ禍であったこともあり、毎日の健康観察や手洗い、換気、消毒など生徒自身が健康への意識を高めることができた。 ・ 新型コロナウイルス感染症防止対策により、多くの学校行事や部活動の公式試合が中止になり生徒の活躍の場が少なくなってしまう。感染対策を考え生徒が安心して安全に活躍できる場を考える必要がある。 ・ 緊急事態宣言により休校になったが、夏季・冬季休業日を短縮することによって、各教科とも例年実施してきた学びの保障を確保することができた。 ・ 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から求人数が減少し、進路選択に厳しい状況となった。景気に左右されない求人が得られるような、人材育成を目指し、生徒に一層の力（キャリア、基礎学力）をつけさせたい。 	